

仕様書No. R6174-SP02


# 製品仕様書

製品名 19インチラック用コンセント  
(30A 125V サーキットプロテクタ付)

製品型番 HAC7126S-RD  
HAC7126S-BL

承認	確認	担当
		

作成年月日 2021年3月9日 改定年月日

1. 適用範囲  
本仕様書は、大和電器(株)において製造される19インチラック用コンセント(以後コンセントという)に対して適用する。
2. 関連規格  
電気用品安全法 : 別表第4-1、4-3、4-6  
日本産業規格(JIS) : C8303、C8306、C8211
3. 形状及び材質  
コンセントの形状及び材質は、添付図面による。
4. 定格, 極数, 極配置及び適合証明書番号
  - 4.1 定格, 極数, 極配置  
定格:30A 125V , 極数:2極(接地形)  
極配置 : コンセント (.)、差込プラグ 2極引掛(接地形) 
  - 4.2 適合証明書番号  
コンセント : JET1141-43009-1023 (大和電器(株)製)  
差込プラグ : JET0368-43001-1005 (アメリカン電機(株)製)  
ケーブル : 使用ケーブル一覧参照
5. 外観
  - 5.1 性能を害するような、または外観上見苦しいバリ、ヒケ、カケ、変形等のないこと。
  - 5.2 外観上見苦しいキズ、汚れ、色むら等のないこと。
6. 表示  
添付図面による。
7. 構造
  - 7.1 コンセントは抜差しが容易な形状で、電氣的接触が確実であること。
  - 7.2 通常の使用状態で、充電金属部に試験指が触れないこと。
  - 7.3 コンセントの差込口に差込プラグを差込み、右方向に回転させることにより、差込プラグが容易に抜けなくなる。
  - 7.4 コンセントは下ケースにアルミ合金、上ケースにABS、差込口及び刃受金具の保持部にユリア樹脂を使用した二重構造。
  - 7.5 ネジ端子部にユリア樹脂を使用した二重構造。M5×8の端子ネジを使用。
  - 7.6 ケーブルの接続方法  
コンセント側 : 圧着端子接続  
差込プラグ側 : 圧着端子接続
  - 7.7 ケーブルの構造は使用ケーブル一覧参照。
  - 7.8 各部の絶縁距離(空間, 沿面)は、通常の使用状態で表1の値を満足すること。  
表1 各部の絶縁距離(空間, 沿面)

極性が異なる充電部相互間	1.5mm(端子部は3mm)以上
充電部とアースする恐れのある非充電金属部 又は人が触れる恐れのある非金属部の表面	1.5mm(端子部は3mm)以上

  - 7.9 本体固定用の取付穴付。移動自由な固定金具付(スライドレールタイプに限る)。
  - 7.10 通電確認用のLED付(色調:緑)。
  - 7.11 内部配線は2系統配線により、1系統15A合計30A対応可能な構造。

8. 性能  
〔コンセント部〕

項目	特 性	試験方法
8.1 引張強度	100N(10.2kgf)の荷重を1分間加えたときカケ、ワレ、ヒビ等がないと共に使用上有害な異常のないこと。	JIS C8303の7.20
8.2 温度上昇	15Aの電流を通电したとき、開閉試験の前後で刃受部の温度上昇は下記の値を満足すること。 初期値：35K(35℃)以下 開閉後：40K(40℃)以下	JIS C8306の4
8.3 開閉性能	下記の条件で開閉試験を行なったとき、使用上有害な異常がないと共に8.2,8.4,8.5の各項を満足すること。 22.5A 125V(力率約1.0), 6~10回/分にて 100回	JIS C8306の10.6
8.4 絶縁抵抗	DC500V絶縁抵抗計により異極間及び充電部と非充電金属部間を測定したとき、開閉試験の前後で100MΩ以上。 但し、基板をはずした状態で測定。	JIS C8306の7
8.5 耐電圧	AC1250Vを異極間及び充電部と非充電金属部間に1分間加えたとき、開閉試験の前後で異常のないこと。 但し、基板をはずした状態で測定。	JIS C8306の8
8.6 耐 熱	80±3℃にて7時間放置後、使用上有害な異常のないこと。	JIS C8306の14
8.7 端子ネジ部の強度	2.0N・m(20.4kgf・cm)のトルクで締付けたとき異常のないこと。	JIS C8306の13.1.1(1)(a)
8.8 接地極部の接触抵抗	接地極部の刃と刃受に対し、50mΩ以下	JIS C8306の5.1

〔サーキットプロテクタ部〕

項目	特 性	試験方法
8.9 温度上昇	15Aの電流を通电したとき温度上昇は下記の値を満足すること。 端子部:60K(60℃)以下	JIS C4610の8.3.1
8.10 定格通電及び過電流遮断性能	15A(系統毎製品定格電流の100%)電流通電…動作しない 25A(サーキットプロテクタ定格20Aの125%)電流遮断…2分以内 40A(サーキットプロテクタ定格20Aの200%)電流遮断…25秒以内(周囲温度25℃)	JIS C4610の8.5.2
8.11 短絡遮断性能(参考)	1kA(定格遮断容量)	-

〔プラグ部〕

項目	特 性	試験方法
8.12 絶縁抵抗	DC500V絶縁抵抗計により異極間及び充電部と非充電金属部間を測定したとき絶縁抵抗値は100MΩ以上。	JIS C8306の7
8.13 耐電圧	AC1250Vを異極間及び充電部と非充電金属部間に1分間加えたとき絶縁破壊等の異常がないこと。	JIS C8306の8
8.14 外郭押圧強度	600N(61.2kgf)の荷重を1分間加えたとき、本体に使用上有害なカケ、ワレ、ヒビ、破損などの異常がないこと。	JIS C8306の13.5.2
8.15 引張荷重	下記の条件で試験を行ったとき、外郭又はコードグリップの破損その他使用上有害な異常のないこと。 (1)プラグに対応するコンセントを通常の使用状態に正しく組合せその間に300Nの引張荷重を連続して1分間加える。 (2)プラグにコードを正しく接続し、コードとプラグとの間に300Nの引張荷重を連続して1分間加える。	JIS C8282-2-11.22
8.16 耐 熱	80±3℃にて7時間放置後、変形・フクレ、その他使用上有害な異常のないこと。	JIS C8306の14

## 9. 使用条件

## 9.1 使用場所

屋内で使用し、過酷な取扱いを受けるような作業現場、直接水のかかる場所、屋外での使用は不可。また、取付場所の標高は2000m以下とする。

## 9.2 使用温度範囲

-5℃～40℃(24時間の平均温度は35℃を超えてはならない。氷結、結露不可)

## 9.3 使用相対湿度

85%以下

## 9.4 使用上のご注意

- (1) 屋内配線の絶縁抵抗試験等で定格電圧以上の電圧が印加される場合は、必ず電源から本器を外して下さい。
- (2) ご使用は必ず「はずれる」の位置からプラグを差込み「はまる」の位置まで確実に回転させ使用して下さい。
- (3) はずすときは、プラグを「はずれる」の位置に回してからプラグを真っ直ぐ上に引き抜いて下さい。
- (4) 定格電流20A仕様のサーキットプロテクタを搭載していますが、必ず系統毎定格電流15A以下でお使いください。
- (5) 本体をOUマウントで入力端子が下側の状態に取り付けた場合、サーキットプロテクタの定格電流は105%になります。  
同様に入力端子が上側の状態に取り付けた場合、サーキットプロテクタの定格電流は95%になります。

## 10. その他

10.1 関連する諸性能に不具合が生じた場合は、双方の話し合いによりすみやかに解決する。

10.2 本仕様書に記載されていない事項については、双方の話し合いにより決定する。

# ——安全上のご注意——

19インチラック用コンセントをより正しく安全にご使用いただくため、特に下記の項目を需要家にご注意ください。

## ◆施工上のご注意◆

### **警告** 発熱して焼損や火災の原因になります。

- 1) 定格電流・定格電圧を超えた条件下で施工しないでください。
- 2) 電源ケーブルは適用サイズを使用してください。
- 3) 単線・より線を直接接続しないでください。適用電線に適用圧着端子を用いて接続してください。
- 4) 電源ケーブルの被覆を剥くときは、心線を切らないでください。
- 5) 端子ネジは確実に締め付けを行なってください。
- 6) 輸送時に端子ネジが緩む場合がありますので、必ず増し締めを行なってください。

### **注意** 破損、感電や火災の原因になります。

- 1) 19インチラック等に固定して使用してください。
- 2) 水のかかる場所、及び高温・低温・多湿・粉塵の多い場所に取り付けしないでください。
- 3) コンクリートやしっくい半乾燥状態では施工しないでください。
- 4) 硫黄ガスやアンモニアガスなどの多い場所に取り付けて使用しないでください。
- 5) 食用油が付着しやすい場所に取り付けしないでください。
- 6) 本体固定金具の締め付けは確実に行ってください。
- 7) より線を半田あげして接続しないでください。
- 8) 接地(アース)は確実に施工してください。
- 9) 器具の取り付けは、必ず工事業者に依頼してください。資格保有者以外の方の取り付けは法律で禁止されています。

## ◆使用上のご注意◆

### **警告** 発熱して焼損や火災の原因になります。

- 1) コンセント1口は15A以下で使用してください。
- 2) 分解・改造は絶対しないでください。
- 3) 電源ケーブルを束ねて使用しないでください。
- 4) 周囲温度40°C以下でご使用ください。
- 5) 通電中に電源接続部のカバーを開けないでください。
- 6) プラグは必ず抜止の位置に回してご使用ください。

### **注意** 破損、感電や火災の原因になります。

- 1) ほこり、湿気の多いところでは、プラグを長期間差しっぱなしにしないでください。ときどきコンセントの表面や刃と刃の間を掃除してほこりをとってください。
- 2) 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、機器やラックに挟み込まないでください。
- 3) 電源ケーブルに熱いものを近づけたり、加熱しないでください。
- 4) タコ足配線はしないでください。
- 5) 左右の刃の大きさが違うプラグは使用しないでください。プラグが外れなくなる場合があります。
- 6) 刃の曲がったプラグを使用しないでください。
- 7) プラグが中途半端な差込状態で使用しないでください。
- 8) プラグの抜き差しが極端に弱い状態で使用しないでください。
- 9) 洗剤や殺虫剤をかけないでください。
- 10) トイレの液体洗剤をかけないでください。
- 11) 水のかかる場所、及び高温・低温・多湿・粉塵の多い場所に取り付けて使用しないでください。
- 12) 外郭カバー等が割れた状態で使用しないでください。
- 13) 濡れた手で操作しないでください。
- 14) ケーブルが傷ついたまま、使用しないでください。